

公認軟式野球コーチ 専門科目講習会カリキュラム

養成目的	競技者育成プログラムに基づき、都道府県内レベルで軟式野球競技者への基礎的・専門的な技術指導や組織の育成・指導にあたる指導者を養成する。
役割	競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、エリア内の有望競技チームの指導にあたる。また各都道府県軟式野球連盟における、軟式野球指導員の講師として指導にあたる。
受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県軟式野球連盟の推薦を受け、全日本軟式野球連盟の承認を得た者。
カリキュラム	共通科目 152.5h(共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ)専門科目 60h
受講料	30,240円(共通科目 19,440円 専門科目 10,800円)
登録料(4年間)	12,000円(初回登録時のみプラス3,000円)
更新のための義務研修	資格登録有効期限の4年間のうちに、最低1回は、全日本軟式野球連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
担当委員会	全日本軟式野球連盟 資格審査委員会

区分		カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	種目の特性に応じた基礎理論	①	軟式野球のコーチの役割・制度	2h	1h	3h
		②	軟式野球の歴史的発展及び国際的動向	2h	1h	3h
		③	軟式野球の戦術・戦法論	2h	1h	3h
		④	指導者としてのリスクマネジメント	2h	1h	3h
		⑤	指導者のコーチングスキル	3h	1h	4h
		⑥	野球におけるメンタルトレーニング	2h	1h	3h
		⑦	スポーツ医学概論	2h	1h	3h
		⑧	軟式野球の選手のための栄養学	2h	1h	3h
		⑨	野球のルールとマナー・フェアプレイ	2h	1h	3h
		⑩	投球・打撃のバイオメカニクス	2h	0h	2h
		⑪	ドーピング防止活動	1.5h	1h	2.5h
		計		22.5h	10h	32.5h
2	実技	①	投手の指導スキル	1.5h	0h	1.5h
		②	打撃の指導スキル	1.5h	0h	1.5h
		③	守備の指導スキル	1.5h	0h	1.5h
		④	スポーツバイオメカニクスの実践	2h	1h	3h
		⑤	体力トレーニングとコンディショニング	2h	1h	3h
		⑥	現場における救急処置(AED、心肺蘇生法)	2h	1h	3h
		計		12.5h	4h	16.5h
3	指導実習	①	個人技能の指導(打撃・守備)	1h	2h	3h
		②	ジュニア指導	2h	3h	5h
		③	公式記録作成	2h	1h	3h
		計		5h	6h	11h
				40h	20h	60h